

レジメン登録フォーマット

申請年月日	令和5年1月10日	使用開始日	
登録診療科	消化器内科・外科	申請医師	森田 香織
化学療法委員会承認年月	令和 5年 2月		
レジメン名	イミフィンジ+GEM+CDDP(胆道がん)(ホスアプレビタント)		
疾患名	胆道がん	適応の備考	胆道がん
適応分類	進行再発	8コース終了後、イミフィンジ単剤(維持療法)を用いる	
1コース日数	21	日間	総コース数 8
コース		コース	催吐性リスク 中等度(当院登録のGC療法に準じて高度催吐性リスクとして登録)
抗がん剤投与量・投与日	イミフィンジ1500mg/body(体重30kg以下の場合20mg/kg) day1、シスプラチン25mg/m ² day1,8、ゲムシタピン1000mg/m ² day1,8		
治療スケジュール・投与日程(投与日は●)	(day)		

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	投与日																				
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	主ルート																								
	点滴静注	生食50mL	1 本 / body	5 分	●																				
2	主ルート	生食250mL	1 本 / body	1 時間	●																				
	点滴静注	イミフィンジ	1500 mg / body		●																				
体重30kg以下の場合、1回投与量は20mg/kg(体重)とする /																									
3	主ルート																								
	点滴静注	生食50mL	1 本 / body	5 分	●																				
4	側管	ソルアセトF500mL	1 本 / body																						
	点滴静注	硫酸Mg補正液1mEq/mL20mL	8 mL / body	90 分	●																				
主ルートと同時開始																									
シスプラチン開始までに必ず終了する																									
5	主ルート	生食250mL	1 本 / body	30 分	●																				
	点滴静注	ホスアプレビタント注150mg	1 本 / body		●																				
抗がん剤投与の1時間前に30分かけて点滴																									
6	主ルート	ハロ/セトロン注ハック0.75mg50mL	1 本 / body	30 分	●																				
	点滴静注	デキサート注射液6.6mg/2ml	1 本 / body		●																				
7	主ルート	20%マンニトール注[YD]300mL	0.66 本 / body	30 分	●																				
	点滴静注	100mLずてる(投与量は200mL)																							
8	主ルート	生食250mL	1 本 / body		●																				
	点滴静注	シスプラチン	25 mg / m ²	60 分	●																				
シスプラチンと同量の生食を抜いてから混注する(合計250mLとする)																									
9	主ルート	生食100mL	1 本 / body	30 分	●																				
	点滴静注	ゲムシタピン	1000 mg / m ²		●																				
10	主ルート																								
	点滴静注	生食50mL	1 本 / body	5 分	●																				
11	主ルート	生食100mL	1 本 / body	30 分		●																			
	点滴静注	デキサート注射液6.6mg/2ml	1 本 / body			●																			
12	主ルート	生食100mL	1 本 / body	30 分			●																		
	点滴静注	デキサート注射液6.6mg/2ml	2 本 / body				●																		

※並行して投与する場合は、コメントを入力する。(例:Rp2とRp3を同時に投与開始する。)

【投与上の注意】

イミフィンジ:0.2又は0.22μmのインラインフィルターを使用して投与する。

イミフィンジ:希釈後の最終濃度を1~15mg/mLとする。

イミフィンジ:希釈は生食又は5%ブドウ糖液のみ。

ゲムシタピン:100mLで希釈し、30分で投与。

シスプラチン:希釈は生食のみ。

シスプラチン:腎毒性軽減のためhydrationが必要。

・ホスアプレビタントは血管痛が報告されているため、溶解には可能な限り生食250mLを使用すること(最低でも100mL以上)。

・ホスアプレビタントは抗がん剤投与の1時間前に30分かけて点滴すること。

・ホスアプレビタントの次に5-HT3受容体拮抗薬+デキサート注を投与して、その次に抗がん剤を投与すること。

【減量基準】

項目	GEM	CDDP
グレード4(500/mm ³ 未満)の好中球数減少	1000→800mg/m ²	変更なし
2万/mm ³ 未満の血小板減少または血小板輸血の実施	1000→800mg/m ²	変更なし
実施医療機関の基準値上限の10倍を超えるAST/ALT上昇	1000→800mg/m ²	変更なし
実施医療機関の基準値上限の1.5倍を超える血清CRE上昇	変更なし	休薬